



まわる市民協働 通信 2023年夏号

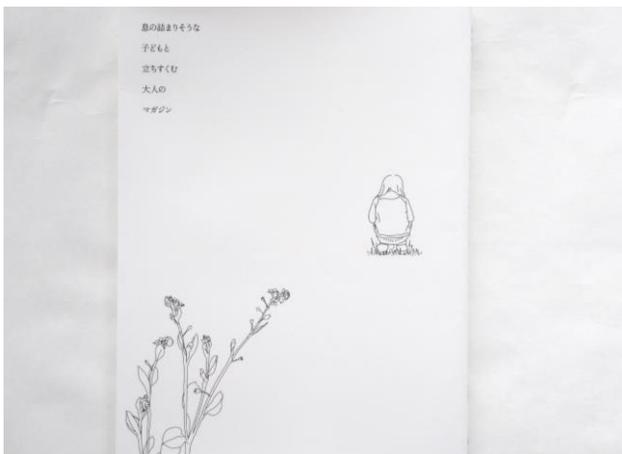
情けは人のためならず。自分のため。

まわる市民協働は、自由な個人が、自分たちの問題を解決するために、対話して行動するための自主的な互助のつながりです。

PTAの過去と未来ゼミ 7/15開催

日時 7月15日(土) 14時-16時
場所 専念寺(本巣市根尾東板屋741-1)
参加資格 どなたでも
(とくに今PTA再編に悩まれている方)
参加料 寄付制
定員 10名
参加方法 右のQRコードより

最近、少子化などの影響により地域のPTAの在り方が問われています。専門家だけでなく、保護者や子どもなど、当事者自身が意思決定する場面も増えてきました。そこで、PTAの過去と未来に関する著作を読みながら、「どう考えたらよいのか?」という問いを共有し、仲間を作るためのゼミを開催します。
*このゼミは特定の方針や決定を推進する事を目的としません。



「子どもの権利」に関する書籍を出版いたしました

本巣市内で子どもや子育て、地域づくりに関わる大人たちの話や、そこで得られた声の考察から、1冊の本「息の詰まりそうな子どもと立ちすくむ大人のマガジン」が生まれました。
しんせいほんの森で閲覧できます。ぜひご覧ください。左のQRコードより購入も可能です。



編集・発行・問合せ
<http://mawaru.jp>
058-227-9364

まわる市民協働運営チーム
〒501-0401 岐阜県本巣市上保1261-4
mawaru.design@gmail.com





まわる市民協働 通信 2023年夏号

情けは人のためならず。自分のため。

まわる市民協働は、自由な個人が、自分たちの問題を解決するために、対話して行動するための自主的な互助のつながりです。

住宅確保要配慮者のための 居住支援事業が始まりました

コロナ禍を経て、DVや児童虐待が年々増加しています。非正規雇用者・女性・サービス業などの特定のカテゴリで失業が顕著に増加しており、新たな格差が発生・拡大しています。この格差は、主に子育て世帯を直撃し、新たな住宅確保要配慮者を生み出しています。まわる市民協働の支援により、居住支援法人として、低所得者・子どもを養育する者・外国人・生活困窮者等に対する居住支援活動が生まれました。



詳しい内容や
支援申し込みはこちら

空き家でお困りですか？

本巣市空き家バンク協力事業者による無料相談を受け付け中です。

空き家無料相談窓口

0581-38-3055

受付時間 平日10:00-17:00
右QRコードでフォーム受付



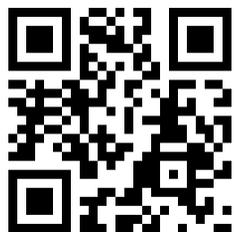
社会プロジェクト相談窓口を開設

自分たちの地域や社会を、自分たちの手で変えていく。一緒にやってみて、一緒に学ぼう。

「社会プロジェクト相談窓口」は、市民の社会的な活動や事業を応援するための、市民による相談窓口です。本巣市および岐阜県内で、社会的な活動や事業に取り組むことを検討している方は誰でも相談できます。

[これまでの相談事例]

- 「留守家庭教室を開きたい」
- 「子どもの居場所を作りたいが、どうやって始めればいいのか迷っている」
- 「子どもの不登校について話し合える仲間が欲しい」など



相談の申し込みは
左のQRコードより
(無料)

